

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025 年 第 9 週（2月24日～3月2日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症 A型肝炎	1人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	1人 病型 肺炎型
五類感染症 アメーバ赤痢	1人 病型 腸管アメーバ症
クロイツフェルト・ヤコブ病	1人 病型 孤発性
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人 血清群 G群
侵襲性肺炎球菌感染症	4人
梅毒	9人 病型 早期顕症Ⅰ期 3人、 早期顕症Ⅱ期 4人、 無症状病原体保有者 2人
百日咳	15人 年齢階級 0歳 1人、8歳 1人、 9歳 4人、10歳代 7人、 30歳代 1人、60歳代 1人

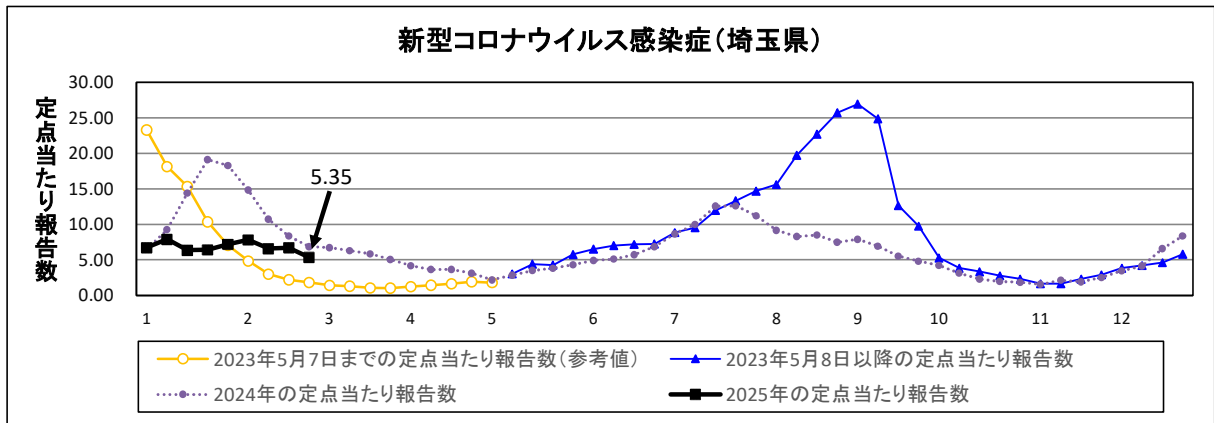
＜定点把握対象疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症（6.71→5.35：図1）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少した。保健所別では、幸手（10.93）保健所管内からの報告が特に多い。基幹定点における入院患者の報告は35人（前週35人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約77%であった。感染性胃腸炎（11.50→10.90：図2-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、過去4年の同時期と比較すると高い水準にある。保健所別では、川口市（17.62）、南部（17.00）、さいたま市（15.39）、春日部（15.00）保健所管内からの報告が多い。伝染性紅斑（1.20→1.09：図3）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少したものの、依然として多い状況にある。保健所別では、春日部（2.67→3.67）、川越市（1.13→2.38）保健所管内で大きく増加した。RSウイルス感染症（1.09→1.05：図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、やや多い状況が続いている。保健所別では、南部（3.40→4.60）保健所管内からの報告が非常に多く、幸手（2.78）保健所管内からの報告も多い。年齢階級別では、1歳以下が全体の約62%であった。インフルエンザ（3.10→2.32：図5）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎11人、流行性角結膜炎32人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎9人、感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）1人、インフルエンザ（入院）3人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第9週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

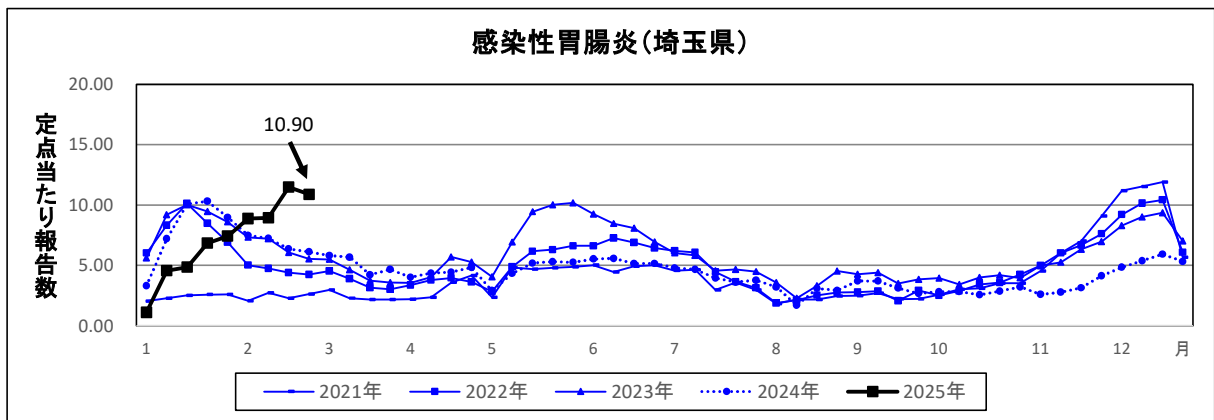
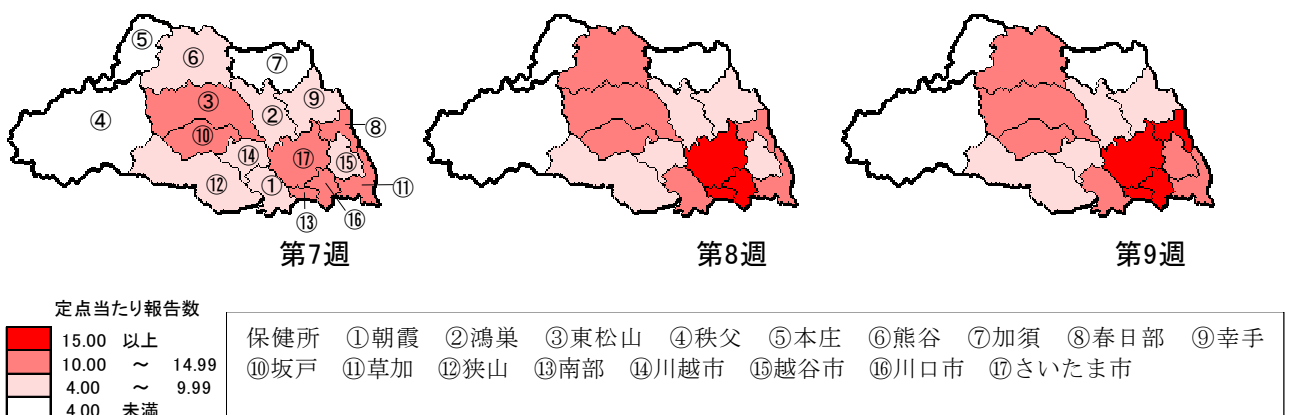


図2-2 感染性胃腸炎の保健所別流行状況の推移（2025年第7週～第9週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第9週)

(2025年3月4日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2024年 累計		今週 届出	累 計	2024年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			2	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		6	183				
四類感染症							
E型肝炎		1	39	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎	1	2	4	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムボックス				日本脳炎			1
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱				レジオネラ症	1	14	141
つつが虫病		1	3	レプトスピラ症			1
デング熱			11	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	2	26	侵襲性肺炎球菌感染症	4	39	97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	17	水痘(入院例に限る)		3	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		22	103	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	9	69	477
急性脳炎		9	28	播種性クリプトコックス症		1	8
クリプトスポリジウム症		1		破傷風		2	2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	13	108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	
後天性免疫不全症候群		9	33	百日咳	15	104	172
ジアルジア症				風しん			1
侵襲性インフルエンザ ^a 菌感染症		5	30	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第9週

2月24日~3月2日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	606	1,397	172	35	384	1,787	72	3	179	26	1	11	11	32	-	-	9	-	1	3	35	
朝 霞	39	120	8	1	59	180	10	-	22	5	-	-	-	2	-	-	3	-	1	-	-	
鴻 巣	45	133	14	4	21	114	1	-	17	4	-	3	-	14	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	12	25	3	-	10	68	-	-	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	6	24	4	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
本 庄	23	22	-	-	-	6	4	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
熊 谷	21	59	8	1	7	82	4	-	10	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
加 須	41	35	5	-	2	13	1	-	1	1	1	-	-	3	-	-	2	-	-	-	-	
春 日 部	31	50	8	11	31	90	-	-	22	1	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	36	153	25	2	28	49	1	-	8	-	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	6	79	-	-	7	65	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草 加	64	149	2	-	17	131	7	-	10	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	87	186	29	4	44	113	7	-	19	2	-	-	11	-	-	-	1	-	-	-	-	
南 部	25	36	23	3	48	85	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川 越 市	39	73	5	-	23	47	7	-	19	3	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	20	66	1	-	3	81	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
川 口 市	31	74	14	1	26	229	5	1	17	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	2	
さいたま市	80	113	23	7	57	431	19	-	22	6	-	2	-	6	-	-	1	-	-	1	9	
	1.86	2.63	0.82	0.25	2.04	15.39	0.68	-	0.79	0.21	-	0.07	-	0.67	-	-	1.00	-	-	1.00	9.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

3月

4日

13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別 (2025年第9週 2月24日～3月2日)																				
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	606	2	5	16	14	24	17	39	31	33	30	35	159	43	34	37	36	21	12	7	11
新型コロナウイルス感染症	1,397	14	31	56	23	15	17	23	27	21	24	29	139	58	113	168	168	145	119	118	89
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	172	28	24	54	25	20	5	7	3	1	1	1	3	-	-						
咽頭結膜熱	35	-	1	5	8	3	7	3	6	1	1	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	384	1	-	16	16	29	39	42	41	37	32	33	78	5	15						
感染性胃腸炎	1,787	15	63	197	168	154	151	130	150	114	104	117	222	35	167						
水痘	72	-	4	4	1	2	2	2	3	8	16	9	20	1	-						
手足口病	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	179	-	3	11	18	16	23	31	38	13	10	7	9	-	-						
突発性発しん	26	-	3	20	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	11	-	1	-	1	1	1	1	1	1	-	2	2	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	11	-	-	-	1	2	3	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	
流行性角結膜炎	32	-	-	-	1	-	1	3	3	2	-	3	1	-	3	5	5	3	2	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	9	-	-	2	4	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3			
新型コロナウイルス感染症(入院)	35	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	27				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第7週 (2月10日～2月16日)

令和7年3月5日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第3週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.55)、新潟県(6.97)、岩手県(6.10)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は299例と前週と比較して減少した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(9例)、1～9歳(49例)、10代(13例)、20代(2例)、30代(8例)、40代(9例)、50代(8例)、60代(31例)、70代(42例)、80歳以上(128例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(7.79)、茨城県(7.76)、鳥取県(7.48)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,071例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(55例)、1～9歳(59例)、10代(26例)、20代(25例)、30代(25例)、40代(54例)、50代(120例)、60代(194例)、70代(489例)、80歳以上(1,024例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(3.42)、福井県(2.40)、奈良県(1.97)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.00)、愛媛県(0.86)、佐賀県(0.65)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(4.41)、新潟県(4.05)、富山県(3.86)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(15.86)、熊本県(14.72)、愛媛県(13.00)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.31)、栃木県(0.19)、岩手県(0.18)、熊本県(0.18)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(1.95)、福島県(1.79)、栃木県(1.46)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.04)、福井県(0.04)、長野県(0.04)、佐賀県(0.04)、青森県(0.03)、岩手県(0.03)、富山県(0.03)、奈良県(0.03)、大分県(0.03)、宮崎県(0.03)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岡山県(0.13)、新潟県(0.09)、福井県(0.08)である。

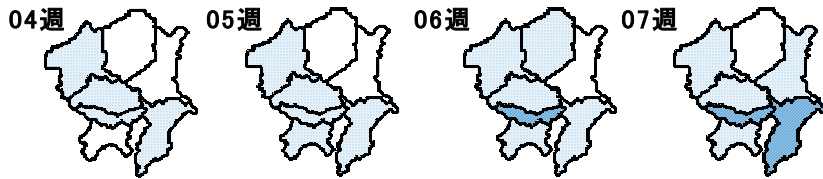
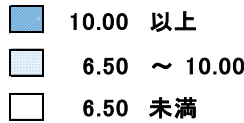
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第3週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.17)、青森県(1.00)、広島県(1.00)、埼玉県(0.92)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。16都道府県から35例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(6例)、5～9歳(20例)、10代(6例)、70歳以上(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第7週(2月10日～2月16日):通巻第27巻 第7号 より

<関東情報>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、東京都(10.20)、千葉県(10.02)からの報告が多い。

感染性胃腸炎



2025年 07週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 12,964 定点当たり 2.63	3,826 2.50	286 2.38	390 5.13	336 3.95	771 2.95	619 3.02	685 1.63	739 2.04
新型コロナウイルス感染症	報告数 25,413 定点当たり 5.15	7,866 5.15	931 7.76	466 6.13	413 4.86	1,720 6.59	1,380 6.73	1,371 3.27	1,585 4.38
RSウイルス感染症	報告数 3,315 定点当たり 1.06	789 0.82	54 0.72	47 0.98	63 1.19	170 1.04	73 0.57	202 0.77	180 0.79
咽頭結膜熱	報告数 886 定点当たり 0.28	185 0.19	21 0.28	14 0.29	27 0.51	47 0.29	18 0.14	44 0.17	14 0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 6,499 定点当たり 2.08	2,082 2.17	331 4.41	94 1.96	54 1.02	377 2.30	349 2.73	522 1.98	355 1.56
感染性胃腸炎	報告数 24,106 定点当たり 7.70	8,641 9.00	577 7.69	300 6.25	489 9.23	1,468 8.95	1,283 10.02	2,694 10.20	1,830 8.03
水痘	報告数 744 定点当たり 0.24	277 0.29	29 0.39	8 0.17	6 0.11	56 0.34	22 0.17	65 0.25	91 0.40
手足口病	報告数 198 定点当たり 0.06	56 0.06	5 0.07	9 0.19	9 0.17	10 0.06	5 0.04	12 0.05	6 0.03
伝染性紅斑	報告数 1,742 定点当たり 0.56	982 1.02	37 0.49	70 1.46	35 0.66	230 1.40	156 1.22	272 1.03	182 0.80
突発性発しん	報告数 558 定点当たり 0.18	147 0.15	9 0.12	8 0.17	8 0.15	26 0.16	19 0.15	38 0.14	39 0.17
ヘルパンギーナ	報告数 23 定点当たり 0.01	4 0.00	-	-	2 0.04	-	1 0.01	-	1 0.00
流行性耳下腺炎	報告数 112 定点当たり 0.04	45 0.05	1 0.01	2 0.04	1 0.02	7 0.04	9 0.07	15 0.06	10 0.04
急性出血性結膜炎	報告数 22 定点当たり 0.03	8 0.04	3 0.18	-	-	5 0.12	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 518 定点当たり 0.74	136 0.65	36 2.12	11 0.92	5 0.36	9 0.21	25 0.74	15 0.38	35 0.70
細菌性髄膜炎 #2	報告数 6 定点当たり 0.01	3 0.03	-	-	-	1 0.08	-	-	2 0.17
無菌性髄膜炎	報告数 4 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 201 定点当たり 0.42	32 0.37	3 0.23	1 0.14	5 0.56	11 0.92	1 0.11	9 0.36	2 0.17
クラミジア肺炎 #3	報告数 - 定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数 35 定点当たり 0.07	10 0.11	-	-	-	6 0.50	-	1 0.04	3 0.25

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

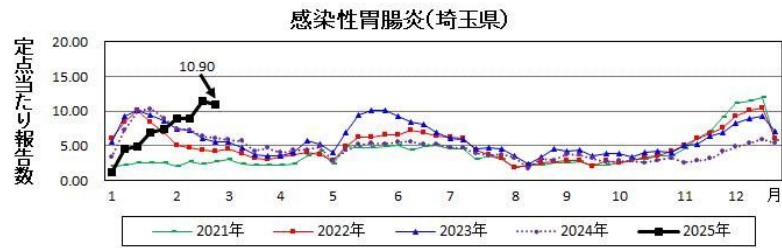
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)

感染症の流行状況 2025年 第9週

2025年第9週（2月24日～3月2日）の要点

[感染性胃腸炎](#)の定点当たり報告数は10.90で、前週と比較して同水準であり、過去4年の同時期と比較すると高い水準にあります。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	↓	★★★★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★★★★	急性出血性結膜炎	↑	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	↑	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

